

# 沿岸資源動向調査（マチ類）

加藤美奈子・海老沢明彦

## 1. 目的

本県における重要な漁獲対象であるマチ類（深海性フエダイ科魚類）は、1980年をピークにその後急激に漁獲量が減少している（沖縄総合事務局農林水産部発行「農林統計年報」による）。このため、本グループ魚類の資源管理による資源保全が求められるが、そのための基礎的漁獲データを取りまとめることを本調査の目的としている。データは、既存の沖縄県水産試験場漁獲統計等の資料を基に分析・研究を進め、作成する。

本事業を実施するにあたり、情報提供頂きました福岡魚市場株式会社、長崎魚市場株式会社、鹿児島県漁業協同組合連合会、鹿児島県水産試験場、西海区水産研究所（順不同）に対しましては、厚くお礼申し上げます。

## 2. 材料および方法

本グループの県内市場の水揚げ量については、沖縄県水産試験場漁獲統計で収集されている。しかしこれには、漁場位置情報は一部を除いて入力されていない。そのため、

①マチ類の水揚げの多い県漁連市場（県内の水産物取扱量の半分以上を占める）でマチ類を漁獲している漁船に対して漁場の聞き取り調査（2000年7月に開始し、9月以降は週2回程度の頻度）を行った。それを表1に示した漁場区分を用いて「沖縄県水産試験場漁獲統計」のデータベースの追加入力した。八重山漁協所属の漁船の漁場に関しては、八重山周辺海域は、一括して「八重山周辺海域」とした。

②県外船籍船（以下、県外船）で沖縄海域内で操業する漁船に対して、沖縄県は操業許可と引き替えに漁獲報告を義務付けている（以下「県外船底魚一本釣り報告書」）。この資料には、漁場位置が記入されており、本土市場に出荷した場合は、その水揚げ伝票（またはコピー）も含めて提出されている。「県外船底魚一本釣り報告書」は、平成7年から漁獲報告があり、この報告書を基に、県外船の漁獲状況に

ついてデータベースを作成した。この水揚げ伝票は、各水揚げ先市場での地方名が使われており、その多くは標準和名が不明であった。そのため、水揚げ先として報告実績のあった福岡・長崎・鹿児島市場で市場関係者に対して、ヒアリング調査を行い、地方名と標準和名を対応させ、「水産試験場漁獲統計」と関連づけたデータベースを作成した。県内市場（県漁連市場）水揚げ分は、「沖縄県水産試験場漁獲統計」のデータベースと関連づけて利用できるようにした。

## 3. 結果および考察

### 〔農林統計と漁連漁獲量の比較〕

沖縄県のマチ漁獲量（属人統計）は、1980年の2,159 tをピークに減少し続けていて、1999年は457 tにまで落ち込んでいる（図1）。それに対して、県漁連市場におけるマチ類主要4魚種（オオヒメ・ヒメダイ・アオダイ・ハマダイ）取扱量の合計は、1993年以降農林統計（属人統計）による漁獲量を上回っている。これは県漁連市場で、マチ類は県外船の水揚げ比率が高くなっていることと深く関係しているものと思われる。魚種別では、ハマダイの漁獲量は減少しているが、県内船の漁獲比率は高く、最も漁獲量の多いアオダイは、県外船の漁獲比率が高い（図2）。また、輸入されているものは全体の2～3%（2000年）に留まっている。季節的な漁獲量の変遷については、はっきりとした差は見られなかった。

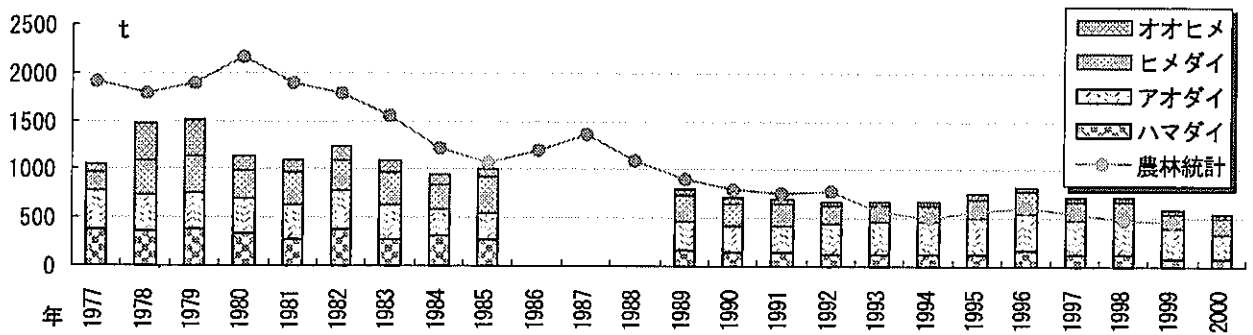


図1. マチ類の県漁連市場取扱量（喜屋武1987，および沖縄県水産試験場漁獲統計）と沖縄県内水揚げ量（沖縄総合事務局農林水産部1999）の変遷

〔漁場位置〕

県漁連市場における漁場聞き取り調査結果を図2に示した。漁場が判明したのは、全体の15%に留まっている（図3a）。また、輸入は全体の2%であった。なお、漁場判明率は、漁獲重量に対するものである。

県内船による漁場確定状況をみると、約半数近く

が確定しているが（図3b）、その殆どは八重山漁協所属の漁船であり、県内船の県漁連市場取り扱いマチ類における八重山漁協比率の高さを反映したものとなった。聞き取り調査が、2000年後半に始まったため、県外船の漁場の多くは不明であるが、今後「県外船底魚一本釣り報告書」をデータベース化する中で、徐々に判明していくものと思われる。



図2. 2000年県漁連市場における県内・県外・海外別漁獲比率a;ハマダイ, b;アオダイ

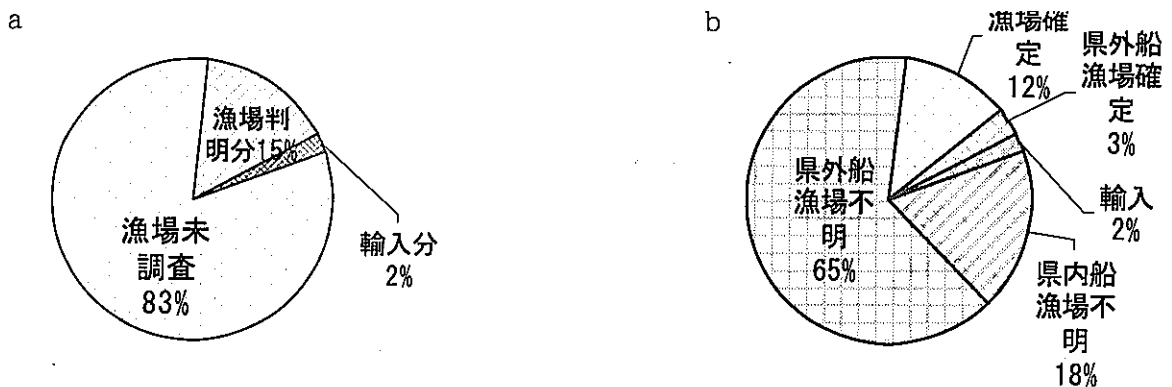


図3. 県漁連市場におけるa;漁場調査状況b;県外船・県内船別（輸入を除く）漁場判明状況

（沖縄県園芸振興課業務資料、水産試験場漁獲統計及び県漁連市場聞き取り調査より作成。）

表 1. 漁場コード対応表

コード	漁場名	コード	漁場名
101	伊平屋・伊是名島周辺	496	盲曾根
102	沖縄島北部西岸	500	東シナ海陸棚近辺 (27° N以南)
103	本部・名護湾～伊江島	510	伊平屋島西方陸棚近辺
104	粟国島周辺	530	北東赤尾堆 (久米島西方陸棚斜面曾根)
105	鳥島周辺	550	尖閣諸島周辺 (含む魚釣, 赤尾, 黄尾)
106	久米島周辺	552	尖閣諸島, 馬曾根, 台湾曾根
107	渡名喜島周辺	553	尖閣諸島, 台湾曾根
108	まーく曾根 (慶良間堆)	554	尖閣諸島, 馬曾根
109	沖縄南部～慶良間	556	尖閣諸島, 宝山
110	中城湾・金武湾～名護東岸	558	尖閣諸島, 東大九
111	沖縄島北部東岸	560	尖閣諸島, 西大九
150	硫黄島島周辺	562	尖閣諸島, 宝山, 東大九
170	硫黄島島堆	564	尖閣諸島, 宝山, 西大九
190	偉業曾根	566	尖閣諸島, 宝山, 東大九, 西大九
194	偉業曾根, 沖永良部島	600	東シナ海陸棚近辺中北部 (27-30° N)
210	伊是名堆	620	東シナ海陸棚近辺北部 (30° N以北)
230	伊江堆	640	東シナ海陸棚近辺全体
250	南北大東島周辺	700	与論島周辺
270	沖大東島 (ラサ島) 周辺	710	沖永良部島周辺
290	東大久曾根	720	徳之島周辺
310	西大九曾根	730	喜界島周辺
312	西大九, 東大九	740	奄美大島周辺
330	宝山曾根 (宮古曾根)	750	旧式曾根 (第一奄美堆)
332	宝山, 東大九, 西大九	780	トカラ列島周辺
334	宝山, 東大九	790	トカラ列島周辺の曾根
336	宝山, 西大九	820	大隅群島周辺
350	宮古島周辺	830	屋久島, 種子島周辺
352	宮古島周辺, 宝山	850	九州周辺
370	多良間島周辺	900	米寿海山
380	八重山金海域	920	硫黄島周辺
390	石垣・西表島周辺 (含む波照間島)	930	スヲ曾根
410	仲之御神島周辺	940	基陸北西陸棚近辺 (尖閣諸島西方)
430	台湾曾根	950	紅頭礁周辺
450	馬曾根 (含む中の曾根)	960	南シナ海
454	馬曾根, 台湾曾根	996	その他
476	与那国, 馬曾根, 台湾曾根	999	漁場不明
478	与那国, 宝山		
480	与那国, 尖閣諸島		